

2015年2月20日

全国大学国語教育学会
2014年度 学会通信 第2号

全国大学国語教育学会事務局

◆第128回 兵庫大会ご案内（第一次）

兵庫大会実行委員長 堀江祐爾（兵庫教育大学）

■ 第128回大会の開催日程、場所等は以下の通りです。

開催日 平成27（2015）年5月30日（土）、31日（日）

場所 姫路商工会議所（〒670-0932 兵庫県姫路市下寺町43 Tel 079-222-0001）

*編集委員会、常任理事会は、前日の5月29日（金）に姫路商工会議所の会議室において開催します。なお、編集委員会、常任理事会、理事会の議事案内、出欠確認は学会事務局からご連絡いたします。

■ 学会参加については、事前申し込みとなります。

（JTBより参加申込書等が、後日、学会員に郵送されます。）

■ 大会2日間の概要（予定）

<第1日目 5月30日（土）>

午前：自由研究発表

昼：理事会

午後：総会

シンポジウム

テーマ：国語科授業づくりと言語活動のあり方
—言語活動をどのように評価するか—（仮）

コーディネーター：堀江祐爾（兵庫教育大学）

登壇者：西岡加名恵（京都大学）

勝見健史（兵庫教育大学）他交渉中

夕刻：懇親会（姫路商工会議所内：学会会場と同じ）

<第2日目 5月31日（日）>

午前：課題研究発表

午後：自由研究発表

公開講座

◆兵庫大会 自由研究発表の募集

1. 募集区分 自由研究発表

*会場の都合のため、ラウンドテーブルは実施いたしません。

2. 発表申込み手順

(1) 申込み

申込みにあたっては、次の①から⑦の情報を以下の（ア）（イ）いずれかの方法でご連絡下さい。

発表申込み締切：3月20日（金）

- * 締切後は受け付けません。会場の許容数に達した場合は、大会事務局の判断により発表をお断りさせていただく場合もございます。予めご容赦ください。
- * 発表日の指定はできません。
- * 発表時間は20分、質疑応答10分です。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 題目（申込後の題目の変更はできません。ご注意ください）② 氏名・ふりがな③ 所属（所属、職名）④ 住所、電話番号（必ず連絡の取れる番号をお書き下さい）⑤ Eメールアドレス⑥ プロジェクター使用希望の有無（パソコンは発表者持ち込みです。プロジェクターとRGBケーブルは用意いたします。なお、接続の準備時間も発表時間に含みます。）⑦ 共同発表者の氏名・所属（いない場合には不要です） |
|---|

(ア) インターネットによるお申込み…次のURLにアクセスし上記の①から⑦について記入の上送信して下さい。QRコードからもアクセスできます。

URL : <http://goo.gl/forms/5hmmyzCtbj>



- * 自動返信メール（受理確認）を必ず確認して下さい。
- Eメールアドレスが正しく記入されていないと返信メールが届きません。自動返信がない場合には再度申し込み下さい。

(イ) 往復はがきによるお申込み…前記の①から⑦をご記入の上、以下の兵庫大会事務局まで

ご送付下さい。（⑤Eメールアドレスがない場合には不要です）

* 返信はがきに、自分宛の郵便番号、住所、氏名を必ず記入して下さい。

兵庫大会事務局（実行委員長）

〒673-1414 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学 言語系分野（国語）

堀江 祐爾 宛

E-mail: yujhorie@hyogo-u.ac.jp ※yujの後のiがないことに注意

TEL 研究室(直通)0795-44-2085

* 大会全般のお問い合わせもこちらへ。

* お問い合わせの際はできるだけEメールでお願いします。

* 緊急の場合は、次の実行委員にご連絡いただいても結構です。

吉川芳則 kikkawa@hyogo-u.ac.jp 研究室(直通)0795-44-2091

羽田 潤 hada@hyogo-u.ac.jp 研究室(直通)0795-44-2074

(2) 発表要旨集の原稿の郵送

発表申込み者は、以下の要領で要旨集の原稿を郵送してください。

・郵送先……上記の兵庫大会事務局 宛

要旨郵送締切：4月20日（月）

* 締め切り後のものについては、題目・所属・氏名のみ掲載となります。

* 要旨のテンプレートは、学会ホームページ (<http://www.gakkai.ac./JTSJ/>) の「テンプレート集」にあります。要旨は4ページ以内でお願いします。プリントアウトしたものを一部郵送して下さい。プリントアウトされたものをそのまま製本し要旨集を作成いたしません（メール添付不可）。

(3) 当日発表資料について

自由研究発表について当日発表資料のある方は、150部を発表当日に各発表会場までご持参下さい。なお、大会事務局では印刷などの対応は一切できません。

また、2日目の資料を1日目にお預かりすることもできません。

◆『国語科教育』第78集 投稿募集について

第78集編集委員会

1. 投稿論文は、2015年3月1日（土）から3月31日（月）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
全国大学国語教育学会事務局
電話：03-5389-3012

3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。（投稿要領にご注意ください）

『国語科教育』投稿要領

- 1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。なお、他誌に投稿する論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
- 2 募集枠は、以下に示す「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリとする。どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記する。ただし採択の枠付けは、編集委員会の最終的な判断によるものとする。
研究論文：独創的な知見を含む学術研究
実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。
資 料：国語教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの
- 3 連続掲載は、原則として2回までとする。
- 4 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてパソコンを使用する。

- 5 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。
- (1) 横書きの場合
23字×44行×2段（1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）
- (2) 縦書きの場合
33字×31行×2段（1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目氏名のスペースとして7行2段をとる。）
- * 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを使用すること。
* 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表については、この限りではない。
* 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は8割以上とする。
- 6 原稿は以下の体裁で整えること。
- (1) 論文本体
* 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。
- (2) 注（ただし、引用のための注はつけない）
- (3) 参考文献
* 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。
- 7 投稿に際しては以下のものを同封する。
- (1) 電子媒体（OS名と作成ソフト名を記載すること）
(2) 打ち出し原稿4部（複写でよい）
(3) 投稿者情報（A4一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先（電話番号、Eメールアドレス、住所）、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの）
なお、提出物は原則として返却しない。
- 8 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。
- 9 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

◆学会発表および学会誌投稿の資格について

全国大学国語教育学会

年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表・ラウンドテーブルへのお申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。新しく入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため（常任理事会での承認・当該年度の会費納入）、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意ください。

◆ 2014年度 第2回 総会議事録

日時 2014年11月10日(土) 13時10分～14時00分

場所 筑波大学 2H201 大講義室

進行 小川 雅子常任理事

総会に先立ち、筑波大会の準備状況について、塚田泰彦大会実行委員長より報告があった。午前中の段階で、323名(事前申込み 211名 当日申し込み 112名)。総会議長として佐藤洋一氏が選出された。

1. 議事

1) 今後の学会開催について

鶴田清司理事長より次のような報告があり、承認された。

- ・ 2015年春季 兵庫大会 (5月30日、31日)
- ・ 2015年秋季 西東京大会 (10月24日、25日)
- ・ 2016年春季 新潟大会 (5月28日、29日)
- ・ 2016年秋季 熊本大会

2) 『国語科教育』第77集編集状況について

河野順子編集委員長より次のような報告があった。

- ・ 投稿論文34編、採択1編、修正採択6編、修正再審査2編。
- ・ 記名論文2編あり、審査しなかった。
- ・ 書評対象書籍 竜田徹『構想力を育む国語教育』
- ・ 第78集は、甲斐雄一郎委員長 児玉忠副委員長
了承された

3) 全国大学国語教育学会優秀論文賞について

松山雅子常任理事より第74集、75集から検討されたことの報告があった。

その結果第74集の原田大介氏「国語科教育におけるインクルージョンの観点の導入 -コミュニケーション教育の具体化を通して-」が選定された。

4) 研究部門報告

山元隆春部門長から以下のような報告があった。

1) 出版物の刊行

『国語教育研究手法の開発』をISDNのついた著作として1200部出版予定。

公開講座のブックレットも今後進めていく。

5) 国立情報学研究所の電子図書館事業修了にともなう今後の対応について

寺田守幹事より次のような報告があった。

- ・ J-STAGE LITEに移行し、PDFへの変換、入力作業が学会で行う必要がある。
- ・ そのため事務作業を業者委託する。

鶴田理事長より次のような報告があった。

- ・ 学会誌はこれまで通り電子化していくが、要旨集については意見が理事会であった。
- ・ 2月の常任理事会で要旨集の扱いを検討する。資料の5番目のところは保留にしたい。

6) 『国語科教育学研究の成果と展望Ⅱ』について

望月常任理事より次のような報告があった。

- ・ 順調に販売が進んでいる。残部が100部を切った。
- ・ 再版は難しい。

7) その他 特になし

補記) 「2013年学会通信第2号」「第2回総会議事録」中、「73集・74集から」優秀論文賞検討とありますが、正しくは「72集・73集から」でした。記して、訂正いたします。

◆研究部門の企画による課題研究の成果の刊行と送付について

この度、研究部門の企画による課題研究の成果を、全国大学国語教育学会編『国語教育研究手法の開発』（学芸図書、2015年2月）として刊行し、会員の皆様に一冊ずつ配布することになりました。

本書は、研究部門前委員長の小川雅子氏のリーダーシップのもと、筑波・富山・弘前の各大会で実施された課題研究「国語教育研究手法の開発」（Ⅰ）～（Ⅲ）の成果をまとめたものです。研究部門の企画によるこれまでの課題研究の成果は、第一弾が全国大学国語教育学会編『国語学力調査の意義と問題』（明治図書出版、2010年3月）として刊行され、第二弾「国語科教師の実践的力量をどう育むか」と第三弾「「メディア」から国語教育の研究と実践を展望する」が、それぞれ機関誌「国語科教育」の第71集と第72集に掲載されています。今回からは単行本として刊行され、会員の皆様への無料での頒布となります。

本書には、文字通り、研究手法開発のための最新のアイデアが満ちています。研究手法の共有と新たな開発のためにご活用いただければ幸いです。

(出版担当常任理事 塚田泰彦)

◆新入会員のお知らせ（受付順、敬称略）

PDF版では省略。

全国大学国語教育学会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
電話 03-5389-3012
jtsj-post@iap.bunken.co.jp